

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学自然科学系知能情報学関連（ビッグデータ、データサイエンス、機械学習及びその関連分野） 助教（1名）の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者を対象に、若手教員一括採用育成制度「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」を実施します。この制度は、本学においてそれぞれの専門分野の研究を深めると同時に、意欲をもって異分野横断研究を展開する研究者の育成を目的としたものです。

若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行います。各分野での専門性を中心とした1次選考、役員による総合的な観点による2次選考を実施し、採用者を決定します。採用された教員には専門分野に応じた学系等に所属するとともに、本学の研究推進を担う研究統括機構に兼務していただき、本学の新たなフラッグシップとなりうる新しい異分野融合研究の萌芽をもたらすための活動に従事していただきます。

公募分野

「情報倫理学」、「民俗学・博物館学」、「Society5.0時代における公正な競争のあり方に関する研究（経済法）」、「理論経済学（行動経済学）」、「食品分析・評価」、「知能情報処理、データサイエンス」、「地域環境水循環科学」、「定量生物学」、「エネルギー変換科学、人工光合成、光触媒」、「地盤工学およびその関連分野」、「生産工学または計測工学」、「国際感染症」、「学際融合歯科学分野」、「こころの発達医学分野」、「摂食機能再建工学」、「生物有機化学、微生物学、分子生物学、データサイエンス」、「神経生理学分野」、「先端的な脳病態解析に関する研究」

募集人数

15名程度を予定

本公募はその一環として知能情報学関連（ビッグデータ、データサイエンス、機械学習及びその関連分野）分野担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

助教（任期の定めなし）

2. 採用予定日

令和6年4月1日

3. 所属

自然科学系情報電子工学系列

ただし、担当する自然科学系情報電子工学系列で教育及び研究を行うことを基本としますが、採用時から原則として3年間、研究統括機構に兼務してスイングバイ・プログラム採用教員として活動していただきます。

4. 職務内容

[担当学部・研究科] 工学部工学科知能情報システムプログラム・大学院自然科学研究科電気情報工学専攻情報工学コース

[職務内容]

1. 研究

- (1) 知能情報学（ビッグデータ、データサイエンス、機械学習）及びその関連分野に関する研究を進めていただきます。
- (2) ビッグデータアクティベーション研究センターの協力教員として、ビッグデータや機械学習を活かした分野横断的な研究にも寄与していただきます。

2. 教育

工学部工学科知能情報システムプログラム・大学院自然科学研究科電気情報工学専攻情報工学コースにおいて、専門に沿った講義・演習・実験科目（英語による講義を含むことがあります）を担当していただきます。

3. 地域貢献

ビッグデータアクティベーション研究センターと連携し、データサイエンスに関する研修プログラムに貢献いただきます。

※着任後原則3年間は研究統括機構の兼任教員としてスイングバイ・プログラムに参加してもらいます。

[専門分野] 知能情報学（ビッグデータ、データサイエンス、機械学習）及びその関連分野

[助教の場合の備考] 研究グループの一員として活動していただきますが、将来的には自立した研究者（Principal Investigator：研究主宰者）として研究室を運営することを期待します。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位取得後10年以内の者（着任日までに学位取得見込の者を含む）
- (2) ビッグデータ、データサイエンス、機械学習のいずれかの分野に関連する研究業績を有すること。
- (3) スイングバイ・プログラムの趣旨を理解し、意欲をもって取り組むことのできる者
- (4) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態 ・勤務時間：裁量労働制 みなし労働7時間45分
・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 研究室の使用 有（面積未定）

7. スイングバイ・プログラム採用教員としての兼務期間の活動

採用者には分野を越えた一括採用制度であるスイングバイ・プログラムを活かすため、着任後3年間は研究統括機構に兼務していただき、次のような活動を求めます。

- ・部局・分野を越えたネットワークを主体的に構築していくこと。
- ・構築したネットワークを活かして異分野交流活動を行い、その成果を学内外に広く発信すること。

上記の実現のため、以下のような活動等があります。

- ・採用者同期会や異分野交流会の企画・運営
- ・年に一度以上の学長・理事との意見交換会
- ・大学での教育方法に関する研修
- ・スイングバイ・プログラムからのスタートアップ研究資金の配分

なお、本学には次のような研究支援体制があり、積極的な活用を期待します。

- ・全学的な機器共用制度
- ・科研費等の外部資金獲得サポート
- ・定期的な異分野交流会
- ・その他、教育研究活動のための研修

8. 応募書類

※ JREC-IN Portal からの Web 応募を行ってください。Web 応募の難しい特段の理由がある場合は、郵送での応募が可能です（Web 経由で送付できない業績がある場合など）。

※ 本公募では業績リスト・外部資金獲得状況・主要論文の確認に **researchmap** を使用します。

- (1) 履歴書（大学入学以降の学歴、学位、職歴、資格、連絡先などを記入のうえ、写真貼付のこと。）
- (2) 研究業績（以下の区分毎に古いものを先頭として番号をつける。）著者名、論文名、雑誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)の順に記載する。Science Citation Index Expanded に登録されている雑誌の論文の番号には「*」印をつける。
 - ・著書
 - ・学位論文
 - ・査読付き学術論文
 - ・総説及び解説
 - ・その他の論文等(査読なしの学術論文、国際会議発表論文など)
 - ・特許（出願中のものも含む）
 - ・学会賞等の受賞、その他
- (3) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得状況（研究代表者・研究分担者の別を明記すること）
- (4) 主要論文 3 編以内の別刷、コピーまたは PDF ファイル
- (5) これまでの教育研究の概要と本学に採用された場合の教育研究の抱負について、それぞれ 1,600 字～2,000 字程度にまとめたもの
- (6) 応募者について意見を聞くことのできる方 2 名の氏名・電子メール連絡先

(注 1) 必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

(注 2) 郵送の場合は、応募書類の印刷物各 1 部に加えて、それらすべての PDF ファイルが保存された CD-R、DVD-R、または USB メモリを封筒に入れ「スイングバイ・プログラム（応募する専門分野名）教員公募 応募書類 在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便（受け取り確認ができる方法）にて 10. に示す送付先にお送りください。

(注 3) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより

本学が取得した応募者の個人情報、 「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

9. 選考スケジュール

- (1) 応募締切：令和5年8月24日（木） 17時 必着
 - (2) 第1次選考：令和5年9月上旬 書面審査、面接審査（リモート面接の場合あり）
 - (3) 第1次選考結果通知：令和5年10月
 - (4) 第2次選考：令和5年10月中旬～11月中旬（予定） 役員による面接審査（リモート面接の場合あり）
 - (5) 第2次選考結果通知：決定次第、本人宛通知
- ※交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

- (1) 送付先：新潟大学自然科学系総務課学系庶務係
〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL 025-262-6823
FAX 025-262-7940
E-mail skei-shomu@adm.niigata-u.ac.jp
- (2) 問い合わせ先：新潟大学自然科学系総務課学系庶務係
〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL 025-262-6823
FAX 025-262-7940
E-mail skei-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

11. 業務内容に関する問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

- (1) 問い合わせ先
新潟大学工学部工学科知能情報システムプログラム長
教授 阿部 貴志
TEL 025-262-6745
E-mail takaabe@ie.niigata-u.ac.jp

12. その他

※新潟大学では、ダイバーシティ推進センター（<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>）を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。